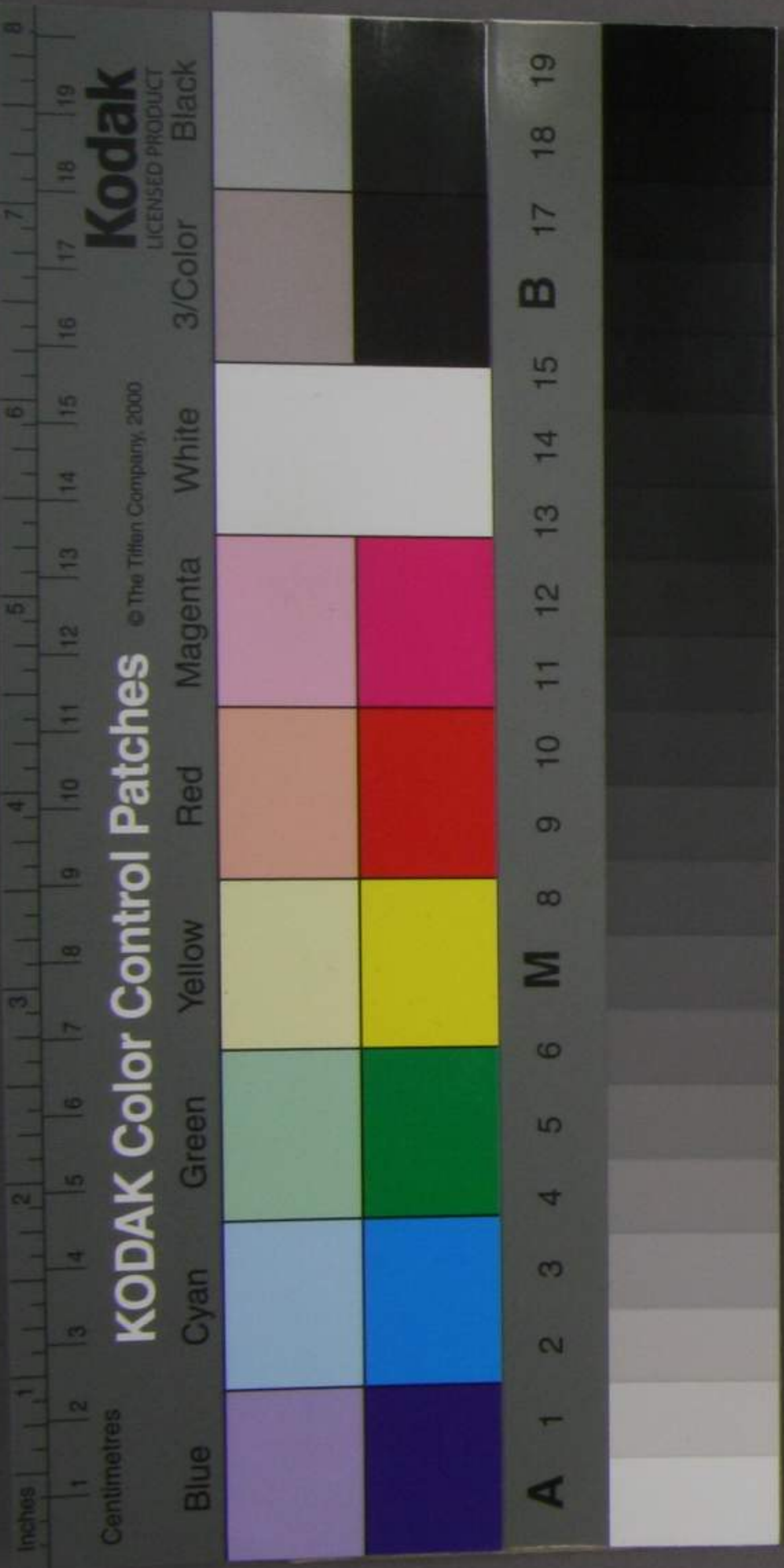


2018

井上毅

全祿公債証券身代限差
押シ許サレムベキ之儀

4146



金禄公債証書
其條例發行
同時
三
抵當賣買

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



金禄公債証書ノ身代限差押ヲ禁又ベキ之議
債証書ハ其條例發行ノ同時三抵當賣買
ノ公布アリ其條例第七條ニ
據テ該條例ノ外ノ事ハ都テ新舊公債証書發行
條例ニ從テ新買抵當條例又公布ノ文ハ當分
禁止ト云々過キザルハ早晚証書典賣ノ禁ヲ
解クハ必然ノ事也
然ルニ金禄公債証書ノ性質ニ就テ論スルハ
金禄公債証書ノ養料年金ノ類ニシテ家産ニ非
ルナリ養料年金ハ何等ノ事故ヲ經ルトモ變
ノ家産ト為ルノ理由アリトシ九年百八号ノ
布告ヲ觀ルニ一時下賜ノ正文アリトモ未
一ニ金禄ヲ變ノ家産トスルノ公布アリ

〔参照〕歐洲ニ於テ文武官ノ養料年金ヲ公債
帳ニ録シ他ノ公債ト同ク下付スルハ通常
ノ事ナリ或國ニ於テハ帝室ノ歲費ヲ公債
トスル者アリ此皆支出ノ方法ニ便シ且ツ
給與ノ信憑ヲ示ス者ニメ嘗テ其公債トス
ルノ故ヲ以テ養料年金ノ性質ヲ變スル
ナレ又嘗テ其公債タルノ故ヲ以テ養料年
金ノ典賣ヲ許ストナレ我國ニ於テ金祿ヲ
公債ト爲セルハ即チ歐洲ノ法ニ依ル者ニ
シテ支出ニ便スル爲ニ改革ヲ爲セルニ過
キ不世人或ハ此改革ヲ以テ祿ヲ變メ產ト
爲スト誤解セルハ一ハ公債ノ名目ニ拘リ
一ハ高知縣ニテ祿券ヲ發行者ヲ施行スル

枉撰ナル處置ト混淆シタリ且金祿ノ
原由ハ官祿ヲ轉シテ養料トナシ者ナル
事ナリ不人々知ル所ナリ政府ハ何等ノ權威
有テアルハ此養料ヲ變メ家産トナスノ力アル
事ナリ一億數千万円ノ巨大ナル金額モ其
養料ニ屬スル事ハ人民ハ固ヨリ税納スル
ノ義アルベシ何トナレハ老退ヲ養給スル
ハ政府ノ當然ナル事ナリ然ルニ若シ此巨
大ナル金祿ヲ以テ各個ノ私有家産トナセ
シナラハ政府ハ何ノ權利アリテ此巨大ナル
歲出國費ヲ特ニ華士族ノ私有ニ歸シタ
ル乎人民ハ何ノ義務アリテ此巨大ナル
數額ヲ税納メ華士族ノ私有ヲ資クル乎

故ニ金祿公債証書ハ本ト抵當賣買ヲ許スベキノ
物ニ非サルヲ以テ歐洲ニ於テ養料ノ賣買ヲ禁ス
ルハ其養料ヲ受クル者一時ノ急迫ヲ免ルニ爲
ニ政府ノ恩惠ヲ曠ク遂ニ困乏ニ歸シ養料ノ目
的ヲ失ハントラ恐レテナリ金祿公債証書ハ其
性質ト其目的ト全ク養料年金ノ例ニ同カルベ
シ、
然ルニ金祿公債証書ノ賣買ヲ許スハ條例ノ主
旨ニシテ事既ニ過去ニ屬シ追曲スベカラズルノ
事宜ニ臨メリ因テハ貴メテ金祿公債証書身代
限處分差押ヲ禁スベシ、

[參照]佛國ニ於テ養料ノ賣買差押共ニ之ヲ
禁ス其它普通ノ公債ハ賣買ヲ許シ差押ヲ

許サズ其差押ヲ許サズハ主トシテ政府公
債ノ信憑ヲ益スニ在リト云
差押ヲ禁スルハ利益第一ニ公債ノ價格ヲ増
スベシ第二ニ持主ヲ保護スルニ在リト云
身代限ノ處分ヲ受クルニ至テハ有ル所ノ動産
不動産一モ免ルニ得ルニシテ然ルニ金祿
公債証書ハ特ニ差押ヲ免ルニ年利ハ舊ニ依テ持
主ノ手ニ落ルニ得ルニシテ此公債証書ハ持
主ニ特別ノ利益ヲ力爲ニ賣買ノ價格ハ它ノ
公債証書ニ幾分増加スベシ
既ニ金祿公債証書ノ賣買ヲ許シタル後ノ景況
ヲ豫メ想像スルニ其典賣シテ資本ニ換ハ一時
ノ蕩散シテ以テ家計ヲ失フ者明治六七年間家

禄奉還ヲ許セル時、經驗ニ據ルニ、十ニ七一ハ、
居ルベシ、而シテ一億數千万円ノ巨額ハ、風散雨霏
メ、或商身儻ノ手ニ落ルニ過キズ、是レヲ政畧ヨリ
論スルモ、是レヲ國計ヨリ論スルモ、力ノ及ビ所ノ
限ハ、救護ノ方法ヲ施サズルハ、カヲ不試ニニ矣、
甲乙丙丁ノ四人アラシニ、其甲ハ、一時資本ヲ得、
生計ヲ營ム爲ニ、証書ヲ賣ル者ナリ、乙ハ、無頼ノ
餘、貧困ニ迫リ、之ヲ賣ル者ナリ、丙ハ、它ノ負債ノ
爲ニ、身代限ノ處分ヲ受ケ、之ヲ差押ヘラレ、者
ナリ、其丁ナル者ハ、証書ヲ保守シ、容易ニ手ヲ放
タザル者ナリ、然ルニ、奈何セシ、此丁ナル者モ、亦
早晚時勢ノ爲ニ、壓迫サレテ、遂ニ其初計ヲ終ル
トシテ得ズ、玉石俱焚シテ、証書ハ他人ノ手ニ移

リ、其結局ハ、甲乙丙ト同一ニ帰スルトシテ免レザ
ルベシ、何トナレハ、將未士族ノ景況ハ、比屋鄰ノ
攀テ貧困ニ陥リ、親戚用友、前後相率テ、饑寒ニ臨
ムニ至ルベシ、此時ニ至ラハ、從前交誼相扶ルノ
餘、風、遽カニ棄テ、顧ミザルニ忍バカラズ、其中
庶謹自周スル家アルモ、互ニ相貸借シ、互ニ貸借
ノ保証人トナリ、其所有財産ハ、互ニ保証ノ爲ニ
抵當トナリ、遂ニ它人ノ爲ニ連累シテ、身代限ノ
處分ヲ免レザルニ至ルベシ、此乃丁ノ金禄公債
証書モ、亦差押シ、結局甲乙丙ト同一
ニ帰スル所以ナリ、夫レ甲ト乙トハ、自業自得、其
故造ニ係ル、之ヲ救護ノ限ニ在ラズトスルモ、可
ナリ、丙ト丁トハ、或ハ不幸ニ由リ、或ハ連累ニ由

其情實三懸ムベキモノトス、是世ノ時態ノ爲
ニ制迫セラレ、以テ政府ノ恩惠ナル養料ヲ全クス
ルヲ得ズ、政府モ亦其養料ヲ與フル恩惠ノ目
的ヲ達スルヲ得ズ、
今賣買ノ禁ヲ解ク氏、猶差押ヲ禁スル味ハ、此兩
丁ナル者ヲメ、法律ノ保護ニ頼テ、以テ不幸ト連
累トノ爲ニ、失産ノ禍ヲ得ルヲ免レ、年金ヲ保
守メ、抽籤ノ好機ヲ待ブヲ得セシムベシ、是猶持
主、即華士族ノ過半数ヲ保護スルノ道トスベシ、

布告案

明治九年第百九号ヲ以テ金祿公債証書賣買抵
當當分被禁旨布告ニ及ビ置候處、今度改メ而左
之通被定候此旨布告候事

- 一金祿公債証書ヲ賣買シテ差ニ讓與スルハ、勝手
タルベシ、其手續ハ新舊公債條例ニ依ル
- 一金祿公債証書ハ賣買讓與本ノ情願ノ由ル
者ヲ除ク外、身代限處分ノ爲ニ、債主ニ差押ヘ
ラル、トナカレハ
- 一金祿公債証書ハ銀行設立願ノ爲ニ、抵當トシ

大藏省ニ納ムルヲ得、
一金祿公債証書ハ人民相互ノ貸借ノ抵當ニ充
テ約束スルモ其効ヲ有セズ、
一此公布ヨリ前ニ抵當賣買ノ密約ヲ爲シ者
ハ仍ホ犯則ヲ以テ論シ、双方トモ新舊公債証
書條例第六條第十一節ニ依テ處分スベシ、

當當心辨禁言可也、
阻礙ハ、
市古案

